



# 宮崎大学 (宮崎県)



「日本語」と「日本事情」のクラスを中心に講義を受けるとともに、学生が希望する専門分野の科目も受講し、直に日本人学生のもの考え方等に触れる機会をもつ。

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の5つの学部と教育学研究科、看護学研究科、工学研究科、農学研究科、医学獣医学総合研究科、農学工学総合研究科の6つの大学院研究科で構成されている国立大学法人です。本学の概要は次のとおりです。

#### (1) 課程・学科

◇教育学部: 学校教育課程

◇医学部: 医学科、看護学科

◇工学部: 環境応用化学科、社会環境システム工学科、環境ロボティクス学科、機械設計システム工学科、電子物理工学科、電気システム工学科、情報システム工学科

◇農学部: 植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境学科、畜産草地科学科、獣医学科

◇地域資源創成学部: 企業マネジメントコース、地域創造コース、地域産業創出コース



#### (2) 学内共同教育研究施設

◇附属図書館

◇国際連携センター

◇語学教育センター

◇産学・地域連携センター

◇教育・学生支援センター

◇フロンティア科学実験総合センター

◇産業動物防疫リサーチセンター

◇IR推進センター

◇安全衛生保健センター

◇障がい学生支援室

◇情報基盤センター

◇イスラーム文化研究交流棟 (Islamic Center)

### ② 国際交流の実績

29カ国96機関と協定を締結しており、学生交流や研究教育に関する協力や交流を行っています。

海外拠点オフィスとしてマランオフィス (インドネシア)、バンコクオフィス (タイ)、ジョグジャカルタオフィス (インドネシア)、ヤンゴンオフィス (ミャンマー)、ハノイオフィス (ベトナム) を設置しており、本学との学術交流・学生交流を積極的に推進しています。夏には外国人留学生を対象に3週間のサマープログラムを提供しており、日本語・日本文化・日本語演習・ラボリサーチのクラスを開講しています。2017年度には6カ国から37名の学生を受け入れました。冬には2週間のウィンタープログラムを提供し、日本語・日本文化のクラスを開講しています。

2016年度には3カ国から23名の学生を受け入れました。また、JSTのさくらサイエンスプランでは2016年度に112名の学生・研究者を受け入れてるなど、多くの学生・研究者をとの交流を広げています。

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生 (日研生) の受入れ実績

2017年: 留学生数205人、日研生4人

2016年: 留学生数178人、日研生1人

2015年: 留学生数144人、日研生3人

### ④ 地域の特色

新鮮な空気、紺碧の海、まぶしい陽光

宮崎県は九州の南部に位置しており、南京 (中国) やサンディエゴ (アメリカ合衆国) と同じ緯度にあります。宮崎市の人口は約40万人です。太平洋の暖流のおかげで、宮崎は平均気温全国三位、快晴日数全国二位の、日本で最も暖かい場所の一つです。温暖な気候と、多くのスポーツ施設があるため、毎年1月下旬から2月にかけてプロ野球やJリーグのスポーツキャンプで賑わいます。雄大な自然に囲まれた宮崎は、「古事記」上巻の2/3をしめる日向神話の舞台です。



## ■コースの概要

### ① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

### ② コースの特色

「プログラムの特徴」

前期（1学期、2学期）、後期（3学期、4学期）に、同じレベルの同じ科目を開講。各科目は学期で内容を変えて、科目名末尾に前期はA、後期はBと付記して区別。これにより前期、後期のいずれの学期に留学しても、希望するレベルから学習を開始できる。また、半期の学習では不十分と感じた場合、同じレベルのクラスを、単位取得対象として再度受講することができる。

「日本語」

入門から超上級まで7段階に細かく分けられた科目構成による、適切なレベルでの学習の提供。特に、高度な論文（読解と執筆）やビジネス日本語の支援の充実。

「日本文化」

特色ある以下の3科目を提供。

- ・ビジネス日本語
- ・日本事情概論 A/B：全学の教員が様々な分野における今の日本、地域について紹介。
- ・日本語地域インターンシップ：より日本社会を知るために、また将来日本での就業を期待する学生向けに、地域社会に参加できる機会を提供。

### ③ 受入定員

5名（大使館推薦3名、大学推薦2名）

### ④ 受講希望者の資格、条件等

日本語中級修了以上。

### ⑤ 達成目標

留学前より上のレベルの科目の履修。

### ⑥ 研修期間

2018年10月1日 ～ 2019年9月30日  
修了式は9月を予定（2017年は9月）

### ⑦ 研修科目の概要

開講科目 のレベル	半期の科目数(平成30年度)		日本語能力 検定レベル
	科目数	時間数	
入門	2科目	45時間	(初心者)
初級	3科目	67.5時間	N5相当
初中級	3科目	67.5時間	N4相当
中級	3科目	67.5時間	N3相当
中上級	3科目	67.5時間	N2相当
上級	3科目	67.5時間	N1相当
超上級	1科目	22.5時間	N1取得以上
中級以上共通	3科目	67.5時間	N3以上
専門(関心ある分野の一般科目を受講できません)			N2以上

#### 1) 必須科目

半期3科目以上

#### 2) 見学、地域交流等の参加型科目

日本語地域インターンシップA/B

#### 3) その他の講義、選択科目等

研修生のニーズに応じて日本語科目等の中から選択。専門科目については指導教員と相談の上、決定。研修生は、日本語、日本事情の授業を研修生の日本語能力に応じて受講するほか、各自の専門領域に関連する科目を受講できる。その際、指導教員が専門内容についての個別指導を行う。

## ⑧ 年間行事

- 10月 オリエンテーション（後期）、  
留学生ウェルカムパーティー（後期）
- 11月 大学祭、  
留学生のためのビジネス講座
- 12月 冬期休暇
- 2月 留学生見学旅行、春期休暇
- 4月 オリエンテーション（前期）、  
留学生ウェルカムパーティー（前期）
- 5月 みやざき国際フェスティバル
- 6月 留学生スポーツ大会
- 7月 えれこっちゃんみやざき市民総踊り
- 8月 夏期休暇
- 9月 修了証書授与



## ⑨ 指導体制

### 【日本関連科目担当教員】

伊藤健一准教授、杉村佳彦講師、塚本泰造教授、寺尾智史准教授、山元宣宏准教授

### 【他、受入可能教員】

教育学部： 8名

(日研究生が日本語の他の専門や希望がある場合、関連する分野の他学部の教員による受入も可能)

## ⑩ コースの修了要件

日本語による留学報告書(1200~1500字程度)を提出し、その内容が基準を満たしていることが必要である。



## ■ 宿 舎

### <学生寮>

男子寮 100室、 女子寮 100室

### <国際交流宿舎>

単身室 167室 月額4,700円  
夫婦・家族室 8室 月額9,500円/14,200円

### <木花ドミトリー>

単身室 31室 月額24,000円(光熱水費・Wifi込)

### <清武ドミトリー>

単身室 30室 月額25,800円(光熱水費・Wifi込)

### <宿舎設備・備品>

各部屋にベッド、机、椅子、クローゼット付



## ■ 修了生へのフォローアップ

- ・日本語・英語によるFacebookの活用
- ・海外同窓会(インドネシア・台湾・ベトナム)
- ・JETによる再来日
- ・修了、帰国後の地域企業等へのインターンシップによる再来日希望者への支援



## ■ 問合せ先

### <担当部署>

宮崎大学研究国際部国際連携課留学交流係

住所： 〒889-2192  
宮崎県宮崎市学園木花台西1-1

TEL： +81-985-58-7134 (直通)  
FAX： +81-985-58-7782  
Email： ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp

### <ウェブサイト>

宮崎大学国際連携センター：  
[www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/](http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/)  
宮崎大学：  
[www.miyazaki-u.ac.jp/](http://www.miyazaki-u.ac.jp/)